



左からサイハンウィンさん サイビさん

秋晴れの10月16日、第63回島内地区大運動会が開催され、20町会36チームが参加し、多数の住民がさわやかな汗を流しました。結果は小宮町会Aチームが20年ぶりとなる優勝。3連覇を狙った南中町会は僅差で準優勝となりました。

他の地区では参加者の減少などを理由に運動会が開催されなくなったりとところもあり、島内地区の63回は市内でも長く続く数少ない運動会になっていますが、島内地区でも参加者の確保に苦戦している町会は少なくないようです。

そんな中、上平瀬町会では2人のミャンマー出身の青年が大切な戦力となって活躍しました。(有)浜農場の農業研修生サイビさん(25)、サイハンウィンさん(22)です。「今まで人数がいなくて参加できなかった種目にも出られるようになった」と清水茂町会長。2人は昨年から3年間の研修生活を送っており、同じ町会に住む農場の人に誘われ、当初から町会の活動に参加しています。ミャンマーにも運動会のようなものがあるということで、各種目に楽しんで参加していました。

運動会の盛り上りは「日島内小学校4年生によるアトラクション



頃の町会の皆さんの協力の成果」(三沢一元小宮町会長)ですが、優勝した町会に限りません。「誘われて掃除も新年度も出ます。平瀬の人に合ったようで嬉しい」と、ミャンマーの青年たちは流暢な日本語と笑顔で話してくれました。



20年ぶりに小宮町会優勝!!

1位 小宮
2位 南中
3位 町



平成28年11月1日現在

総人口	12,634人
男	6,137人
女	6,497人
世帯数	5,146世帯



芸術文化祭 あれこれ

長野市生まれの牧美花さん。右手にバイオリンを構え、ハンデイのある左手に弓を持つての演奏。「もみじ」「さんぽ」「365日の紙飛行機」など、親しみのある曲は、客席に降りての演奏でした。観客は、心に響くバイオリンの音に、いつしか一緒に口ずさんでいました。



のびていこう われらまた

島内小学校開校百三十周年記念事業



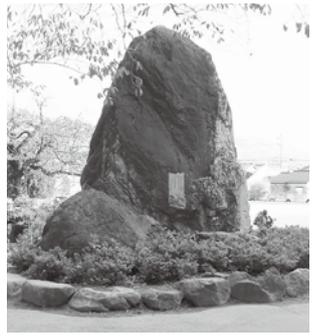
島内小学校130周年 記念事業を終えて

明治19年に島内小学校が開校してから百三十周年を迎え、長い歴史の中で数多くの卒業生が巣立ち、各方面で立派に活躍されていることと存じます。この伝統ある島内小学校の開校百三十周年記念行事の遂行にあたり、地区の皆様のご理解とご協力をいただき、盛大に執り行うことができましたことを心より感謝申し上げます。

そこで、この記念事業の内容と経過についてご報告いたします。まず、島内小学校PTA本

部会経験者と担当の先生方により実行委員会を立ち上げ、島内小学校PTA理事会の承認を経て、予算立てを行いました。

記念事業としては、中庭浅井戸ポンプの更新、北庭の築山整備工事とヒメイワダレソウの植栽、時計とテントの購入、昇降口前大岩まわりのサツキの植栽を行いました。さらに、開校百三十周年記念誌の作成につきましては、百周年誌を参考にして内容の検討を行い、30年分の卒業生名簿、教員名簿洗い出しに始まり、平成になってからの島内小学校の姿や、子どもたちの様子を掲載することにより地域の



昇降口前のサツキ

変化を表せるように取り組んできました。

また、記念式典では、子どもたちを主役に据え、その発表を主たるものとして行いました。

以上の取り組みの中で、私も島内小学校の卒業生の一人として、また、卒業生の父親として、これからの未来に思いをはせ、百五十年、二百年



体育館の時計

と健やかな子どもたちの学び舎として続いていくことを願っております。

先生方、保護者の皆様、地区の皆様方には子どもたちが健やかに育っていかれますよう、これからもご指導、ご協力をお願いいたします。

実行委員長(小沢 幸治)

松島中学校清掃ボランティア



島内公園での清掃

松島中学校の1年生120人が、10月25日、クラス毎に分かれ、音楽文化ホールと島内公園、大宮神社、そして島立の沙田神社の清掃奉仕をしてくれました。

自分達が暮らす地域を理解し、生徒の力を活かそうと初めて企画されたものです。

少子高齢化が進む社会の中で、将来を担う子ども達が地域を理解し、地域に貢献し、ともに将来について考えることは、今後の地域づくりにとって大切でありがたいことです。

また、松島中学校では「あいさつ運動」も展開しています。通学途上で行き会います「こんにちは」など、お互いにあいさつを交わしましょう。

ギャラリーピアッツァの展示の様子



島内公民館ギャラリー「ピアッツァ」の予定

- 手作り作品三人展
11月14日～12月1日
- ガールスカウト展
12月5日～12月22日
- 島内書道愛好家書道展
1月5日～1月20日